

仏頂山～高峯山行報告

【山行日】 2025年2月16日 (日)
【集 合】 鹿窪運動公園P 7:00
【費 用】 マイカー2台 : 800円
【メンバー】 CL鈴木、SL 関、青柳、植竹、大塚、岸、佐藤、嶋田、藤原、渡邊カ、渡邊ト
【コースタイム】 鹿窪運動公園P 7:00＝楞嚴寺
P7:55/8:15～仏頂山 9:05/9:15 ～奈良田峠
9:50/10:00～高峯山頂 10:40/10:50～パラグライダー基地 11:05/11:45 ～奈良駄峠
12:15/12:25～仏頂山 13:05/13:15 ～楞嚴寺
P13:55/14:10＝道の駅「グランテラス」＝鹿窪運動公園 P15:30



結城市の鹿窪運動公園駐車場に向かう途中渡邊カさんから TEL があり、今日は結城市のマラソン大会があり、駐車券を持ってない人は車を駐車できないと連絡があった。奥の第 6 駐車場か第7駐車場なら止められるかもしれないので、行ってみて止め



られる様なら連絡くださいと願います。国道50号線を右折すると参加者の車が数台止まっており、車が止められないと言っている。そこに渡邊カさんから TEL が入り「第7駐車場は係員が居ないので止められません」と連絡が入る。皆さんに後を付いて来るように言って、第7駐車場に向かい無事車を止め7:00前に出発する。登山口にトイレが無いので桜川筑西 IC 入口の駐車場に寄りトイレを済ませる。

楞嚴寺の駐車場に着くとほぼ満車状態だったが、奥の方に2台分空いており止めるこ

とが出来た。現地直行の佐藤さんは来ており、挨拶を交わす。身支度を整えストレッチを済ませたら歩き出す。楞嚴寺本堂への石段手前から左手に山腹を進み、薄暗い谷間の道を進むと尾根に出て、大きく右に曲がって尾根上を進む。最初は緩やかに登って行くが、巨木の自然林を過ぎると山頂へ急な階段の登りが始まる。徳ちゃんが「私階段の登りは嫌いなんだよね」と言っていたので、「階段は登りやすくするために作ってくれたのだから、感謝して登らないとね」となだめて登って行く。傾斜が緩くなると山頂台地の一角に出て、平坦な道を進むとベンチと案内板が立つ山頂に着く。



ベンチで休憩し徳ちゃんのオレンジを食べて喉を潤すと、大勢のパーティーが到着し場所を空けて高峰へ向かう。北に少し進むと西の尾根を急降下し、階段状の急坂を下ると左側の樹林帯が伐採され、明るく開けた道を気持ち良く歩ける。鞍部から登り返すと、コナラやクヌギ等の自然林の歩き易い道になる。途中の奈良駄峠までの道には100段前後の階段が連続し、徳ちゃんの嘆息節が聞こえてくるが無視して進む。奈良駄峠に下りついたら休憩し、おやつを食べて水分を補給する。奈良駄峠はかつて北側の小貫集落と南側の山口集落を結ぶ峠道だったが、



今では通る人が少ないようである。ここから右に鉄パイプの手すりが付いた道を登り、アップダウンを繰り返しながらの稜線歩きが高峰まで続く。明るい自然林の尾根が続き、道は整備されていてとても歩き易い。

このコース一番の稜線歩きを満喫しながら登って行く。高峰まで200mの標識を過ぎると傾斜が緩やかになり、まもなく2等三角点が置かれた高峰山頂に着く。南側に展望が得られるが、あまり展望は良くない山頂である。小休止して記念写真を撮ったらこの先のパラグライダー基地に向かう。山頂から緩やかに下り、登り返して左に巻くように進むと展望が良いパラグライダー基地に付く。角材のベンチに先客が1人居



たが、半分を借りて座りお湯を沸かしてランチタイムにする。漬物やイチゴ、イチジクの甘露煮等が並び、カップ麺やおにぎり等と美味しくいただいた。風も無く穏やかな晴天に恵まれ、3月下旬の陽気に若い渡邊さんは半そでシャツ1枚で歩いていた。ランチが済んだら記念写真を撮り、往路を戻って高峰に着くと仏頂山で出会ったパーティーが昼食を食べていた。休まずアップダウンの稜線を戻り、奈良駄峠で小休止する。峠からの登り返しや仏頂山への登り返しはきつかったが、仏頂山で最後の休憩を取りリンゴをいただく。最後の急坂は階段を下って行くが、左の樹林帯に九十九折れの道があったはずだが入口が分からず、そのまま階段を下って行く。無事駐車場に戻り靴を履き替えていたら、楞厳寺の住職から話があると呼び出された。

駐車場に無断で止めたので叱られると思って行っただが、住職は大変優しく「法事があるとお客様の車が止められないので、事前に電話で確認して止めてほしい」と言われた。ごもつものなので丁重にお詫びし、車に乗って帰路につく。途中、道の駅「グランテラス筑西」に寄り、トイレ休憩とお買い物。途中少し渋滞したが、予定より早く鹿窪運動公園Pに帰着出来た。